

# C pieces

前期

◎出展作家

小笠原森  
塩谷良太  
福本歩  
花塚愛

2017.03.10.Fri.

-03.27.Mon.

後期

◎出展作家

大平真梨  
阿片陽介  
林麻依子  
原裕子  
渡邊拓也

2017.03.30.Thu.

-04.16.Sun

多摩美術大学のやきものは、1964年に絵画学科油画専攻の1コースとして始まり、工芸という言葉に縛られることなく、独自の道を歩んできました。1998年に工芸学科陶プログラムとして改められてから後も、東京で時流の波にもまれながら、自らや社会に問いかけ続けることで培われたしなやかな思考と、土という素材との粘り強い対話によって、新しい表現が次々と生まれています。

■しかしながら、その多様性ゆえに卒業生の活動の場も様々で、それらが一堂に会する機会は久しくなく、その根底にあるはずの多摩美の陶の系譜は見えづらいままになっていました。本展覧会では、工芸学科陶プログラムを卒業した9名の作家の作品を、会期を二つに分けてご覧いただきます。多方面に展開する陶の表現が集まる貴重な機会です。

■陶磁器産地から離れた東京で、やきもので叫び、歌い、踊り、あるいは囁くことのできる新しいステージをつくりたい。そんな願いと共に始動した「C pieces」に、どうぞご期待ください。

open 12:00-19:00 ◎金・土は 20:00 まで◎火曜休場  
※ 3月28日・29日は展示替えのため閉場

アキバタマビ21

小笠原 森



塩谷 良太



福本 歩



花塚 愛



前期

2017.03.10.Fri.  
-03.27.Mon.

大平 真梨



阿片 陽介



林 麻依子



event

オープニングレセプション

03.11.Sat. |17:30-

シンポジウム 現代のやきもの  
～陶で表現するということ～

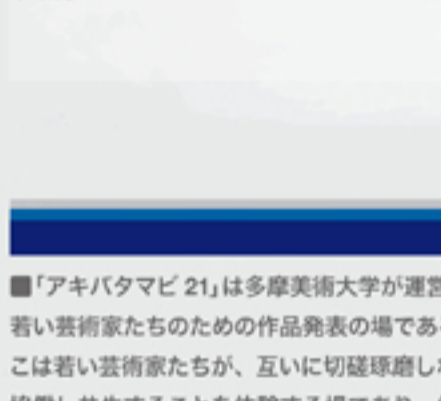
04.02.Sun. |14:00-16:00

\*ゲスト

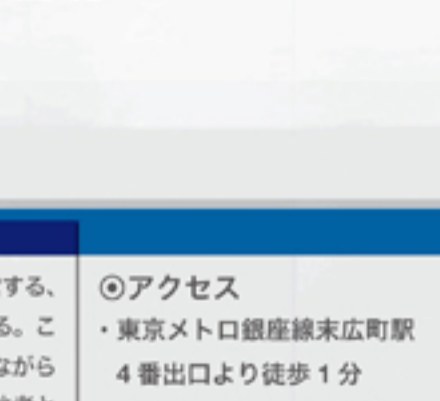
外館 和子氏 (工芸評論家、工芸史家)

井上 雅之氏 (多摩美術大学工芸学科 教授)

原 裕子



渡邊 拓也



後期

2017.03.30.Thu.  
-04.16.Sun

■「アキバタマビ 21」は多摩美術大学が運営する、若い芸術家たちのための作品発表の場である。ここは若い芸術家たちが、互いに切磋琢磨しながら協働し共生することを体験する場であり、他者と触れ合うことで自我の殻から脱皮し、既存のシステムや権威に依存することなく自らをプロデュースし自立していくための、鍛錬の場でもある——そうありたいという希望を託して若い芸術家たちにゆだねる、あり得るかもしれない「可能性」の場であり、その可能性を目撃していただく場所である。

### ◎アクセス

- ・東京メトロ銀座線末広町駅  
4番出口より徒歩1分
- ・東京メトロ千代田線湯島駅  
6番出口より徒歩3分
- ・都営大江戸線上野御徒町駅  
A1番出口より徒歩6分
- ・JR御徒町駅南口より徒歩7分
- ・JR秋葉原駅電気街口より徒歩8分

